



わんにゃん新聞

Vol. 16

文責：看護師 古賀



皆さんこんにちは！

2月に入ってますます寒さ厳しくなってきました。
インフルエンザが大流行しているので気を付けてください。
今回のテーマは『冬に多い病気②』と『バベシア』です。



伝染病に注意!!



寒い季節になると抵抗力が落ちたりすることで病気に感染しやすくなります。

また、多頭飼い場合には、1頭が病気になると他の犬や猫にどんどん感染してしまう可能性が高くなるので注意が必要です。

特に気密性の高い同じ部屋で過ごしている場合には、
愛犬・愛猫の状態をよく観察してください。

犬では、主な伝染病としてはジステンパー、
パルボウイルスなどの感染症があります。

猫では、ウイルス性の「ネコ風邪」が流行します。

予防法は、**ワクチン接種が第一です。**

ある程度の伝染性の病気はワクチンで予防できるので、
毎年一度のワクチンを接種しましょう。



冬は気温が低く、場所によっては乾燥しているので、
呼吸器は刺激を受けやすくなり咳が出やすくなります。

また、寒さのために体内の抵抗力が落ちている場合も多いので、

寒さに弱い犬（チワワなどの超小型犬や子犬、短毛種）は特に気をつけるようにしましょう。



朝方の冷え込みなどの気温差で咳が出やすいので、
室温は1日中、一定に保つ事が理想的です。

また、暖をとるために部屋を閉め切ってしまうがちなため、

細菌やウイルスが繁殖しやすいので室内の空気はこまめに換気するように注意が必要です。

症状は、多くの場合咳をします。早めにご来院下さい。

また、咳がでるのは感染症が原因ではなく、

心臓病の場合もありますのでお年寄りのワンちゃんは特に注意が必要です。



西川動物病院

0940-43-0200



ご意見・ご感想

お待ちしております!

info@on-vet.com



ダニが選ぶ恐ろしい病気

それは『バベシア』です。

バベシアは、血液の赤血球に寄生する顕微鏡で見なければ分からないほどとても小さい虫です。

(黒い小さなゴミ様の粒がバベシアです→)

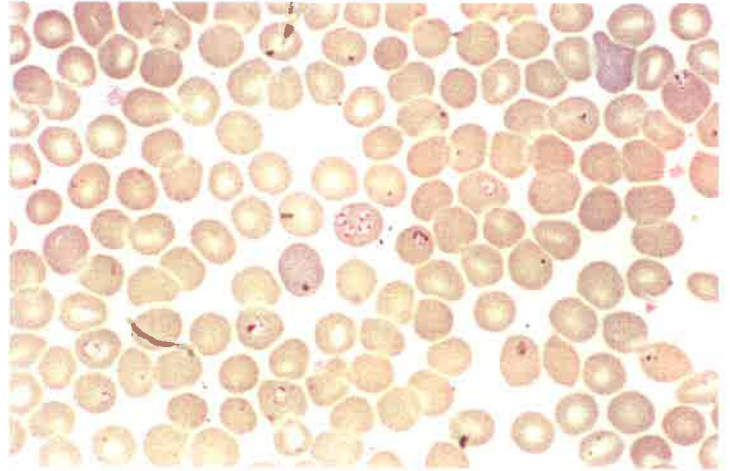
バベシアを持ったダニに吸血されると血液の中に入り、赤血球に寄生します。そしてどんどん赤血球を壊してしまいます。

赤血球が壊されてしまいますので

貧血になります。歯茎や舌、鼻の先、耳の内側等が真っ白になってきます。

そのほかには発熱、ふらつき、食欲がなくなり、元気もなくなります。

最悪の場合には死に至ります。



今まで遠賀川から福岡市内まではバベシアを持ったダニはいないと言われていましたが、2年ほど前より福津市から外に出たことがない犬がバベシアに感染して来院されました。当院で、2例ほど死亡例がありました。

この地区でもバベシアを持ったダニがいると思われれます。

年間を通してダニ予防(フロントライン プラス)を行うことをお勧めいたします。

『ダニがついていたからつける』ではなく、『ダニがつかないように』予防しましょう。

ANIMALトリビア: キリンの睡眠時間は約20分!!

塚崎トレーナーのしつけのいろは



《第3回：甘噛みについて》

甘噛みは、歯が生えかわる4~6カ月をピークにだんだんと落ち着いてくることが多いです。子犬同士でじゃれあって遊ぶうちに噛む加減を覚えて徐々になくなっていくものですが、1頭だけの子犬の場合は対象が飼主になるため、子犬の甘噛みに悩まされることとなります。噛むことの加減を教えずにあげないとエスカレートして強く噛むようになることもあります。噛んでくる時で一番多いのは「遊んでいるうちに興奮して噛まれる」という事があると思います。このような時は、噛んだ途端に遊びをやめたり、

『痛い!!』と声を上げて「イヤだ」ということをインパクトたっぷりに伝えましょう。

※手など身体を噛まれた時だけでなく、

噛まれて困るもの(服やスリッパなど)に歯をあてた時も同様です。

噛む=飼い主が嫌がるということをはっきり示しましょう。

大声で騒いだり、犬の口を押さえたりすることは

犬の攻撃性を増す事がありますので絶対にやめましょう

